

2026年 2月19日 第2641回例会
2月第2例会

RI会長メッセージ：UNITE FOR GOOD
「よいことのために手を取りあおう」

本年度会長テーマ
「ロータリーの友情を育もう」

「平和構築と紛争予防月間」

◆ 会長時間 ◆

小橋会長



2月15日に開催されました、国際ロータリー第2710地区グループ6・7合同インターシティミーティングには、日曜日にもかかわらず、多数の会員の皆さんにご参加をいただき、誠にありがとうございました。会場は、広テレビビル2階の広島コンベンションホールで、講演は東京科学大学教授 中島 岳志 氏でした。「奉仕を通じて魅力的なクラブ作りを！」というテーマで、「利他と中間団体」と題して講演されました。懇親会はシェラトングランドホテル 広島市の3階と4階を使用して開催されました。広島市内のロータリークラブの親交が深まる良い機会でした。

そして2月11日に、当クラブが支援しています広島修道大学協創高等学校インターアクトクラブの生徒の皆さんと、バスで山口県の観光に行きました。詳しくは、後ほど委員会報告がありますので、よろしく願いいたします。青少年奉仕として当クラブは、同校のインターアクトクラブ活動を通じて、多くの青少年に「奉仕の精神」と「青少年の育成」を体験してもらう機会を提供してまいりました。今回は厳島神社本殿参拝と陶器造り体験でした。過去に実施した研修先としては、芸北国際スキー場での体験学習、アヲハタでのジャムづくり体験、竹原保存地区見学やパン作り学習

そして香川県金刀比羅宮への参拝と手作りうどん体験学習など、バラエティに富んだ活動をしてまいりました。いずれも、生徒たちにとっては「実践的で社会的な学び」と「仲間との絆を深める機会」となっています。こうした活動のひとつひとつが、未来を担う若者たちの成長につながっていると感じます。

今後も、青少年の育成と奉仕の精神の継承の為に、当クラブとしてできる限りの支援を続けてまいりたいと思います。

田上グループ7ガバナー補佐ご挨拶（インターシティミーティングお礼）



● 会務報告 ● 山縣幹事

2026-27年版「ロータリー手帳」の販売について回覧いたしますので、○×を記入してください。



● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 瀬崎副委員長

本日（2月19日・木曜日）

会員数 93名 出席者 75名

欠席者 18名 ご来客 0名

ご来賓 2名 ゲスト 1名

計 78名

4週前の例会2026年1月15日・木曜日

出席率 100%



※ 会報雑誌・広報委員会 土井(英)委員長

新しく入会された方の顔と名前が一致せん！という声を受けまして、直近5年間の入会者ではありますが自己紹介冊子「百人百様」を作成いたしました。中に出ている方には50周年記念誌も入れておりますので合わせてご覧ください。

あと、最終ページにある「ロータリーの行動規範」ですが、昨年10月に2番の項が改訂されました。作成中の出来事でしたので前のものを掲載しております。ご了承ください。

因みに、小橋会長から「なんで百人百様なん？」と質問を受けましたが、半世紀前から会員自己紹介の冊子やページのタイトルに使われてますのでクラブの伝統として踏襲しております。

※ 会報雑誌・広報委員会 亀田君

ロータリーの友誌紹介

※ 青少年・インターアクト委員会 土井(隆)委員長



2月11日、広島修道大学ひろしま協創中学・高校インターアクトクラブの生徒さんとの交流事業として、山口県防府市への日帰りバスツアーを実施しました。

今回の事業は、1年間ボランティア活動を頑張ってきたインターアクトクラブの生徒さんをねぎらい、あわせてRCとの交流を深めること

を目的に企画したものです。

当日は、RC会員11名、インターアクトクラブ生徒9名、合計20名が参加しました。

鋳物作り体験を通じて防府市の伝統産業に触れ、その後、防府天満宮と毛利氏庭園を散策し、歴史と文化を学びました。

天候にも恵まれ、暖かく穏やかな一日となり、参加者の皆さんからは『楽しかった』『良い交流になった』という声が多く聞かれました。

この事業が無事に実施できたのは、ご参加いただいたRCの皆様のご理解とご協力、そして企画から準備、当日の運営まで尽力くださった青少年・インターアクト委員会委員の皆様のおかげです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



※ 国際奉仕部門 石山理事

26日の例会は卓話時間を15分延長して、国際奉仕部門クラブフォーラムを開催いたします。

※ 柴田次年度幹事

例会終了後、4階「カメリア」において第1回次年度クラブ協議会を開催いたしますので、次年度理事役員及び各委員長は出席願います。

✳ SAA 長谷川(剛)委員長

食事のグレードアップの件ですが、今回は3月12日となりました。メニューはウニとイクラの海鮮丼です。予算の関係上、最後のグレードアップとなりますので、奮ってご出席お願いいたします。

また、本日もご来賓より、貴重なお時間を割いていただき卓話を頂戴いたします。眠気や携帯電話操作につきましては、体調と緊急連絡を優先された上で、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

● 青少年交換派遣学生 月例報告書(1月分)

■ 石井 友菜

● 健康状態

学校で、腹痛が流行っていましたが、特にうつることもなく、私もホストシスターも元気です。

● 学校の状況

授業のディスカッションに少しずつ参加できるようになりました。日常会話はだいぶ話せるようになり、友達もいい人達ばかりで楽しいです。

友達のお家で、new year partyをしたり、学校の課題で動画を作りに行ったりして、学校以外の時間で友達とあって遊びに行ったりしています。

● ホストファミリーとの関係

ホストファミリーとの関係はとても良く、学校に行く前にハグをしてから学校へ向かうのですが、家族として扱ってくださっているのが毎朝感じられ、いつも暖かい気持ちと照れ臭い気持ちで学校に向かっています。

ホストファミリーと一緒にご飯を作ったりスキーに行ったり、ホストファミリーと過ごす時間はいつも心地よくて楽しいです。

● ホストロータリークラブとの関係

日本についてのプレゼンテーションをしたとき、広島名物のお好み焼きについても紹介しました。お好み焼きの作り方の動画を見せたところ、皆さんがとても興味を持ってくれました。

「おいしそう」「見ていて楽しい」と言って

もらえて、たくさん褒めてもらえました。

日本の料理の魅力を伝えることができて、とても嬉しかったです。

広島の平和、原爆についても紹介したのですが、みなさん聞きながら聞いてくださいました。紹介する前は原爆について話すのはどうなるかなと思っていたのですが「国と国が平和について協力することが大切です」と言ったところ「そうだよね」と言ってもらえました。

● その他近況等の報告

インバウンドの集まりがあったのですが、最初のオリエンテーションに比べみんなと話せるようになり、インバウンドのみんなで夜更かしをして、お喋りをしました。

インバウンドの集まりは毎回緊張していましたが、話しかけてみるを意識して続けたところ、少しずつみんなと打ち解けることができました。



■ Jack Tyler Hampton

● 健康状態

ここ最近、数回体調を崩しましたが、これは最近流行しているインフルエンザの影響だと思います。

ここ2週間ほど食欲があまりなく、学校では眠気が強く、起きているのがつらく感じることもあります。少し食べただけですぐ満腹になってしまい、この状態がなかなか改善しません。

● 学校の状況（現地語習得状況）

学校では、会話の中で周囲の人たちと問題なく意思疎通ができています。

直近のロータリーの旅行では、元日本派遣学生の方々と具体的に深い交流ができました。また最近では、学校で日本語によるスピーチも行っています。

現時点での自分の日本語力にはとても満足していますが、まだまだ向上の余地があるとも感じています。

● ホストロータリークラブとの関係

この1か月の間に、マルチディストリクトの大会と通常例会の両方に参加しました。

多くの会員の皆さんと良好な関係を築けていると感じており、例会後はいつも気持ちが前向きになっています。

● その他近況

日本語は、英語があまり得意でない人たちとも会話ができ、新しい友人を作れる程度には上達しています。

● 同好会報告

🏆 紫雀会 鈴木世話人

2月例会はいつもの第3木曜日に多数のメンバーの予定が合わずやむを得ず2月16日(月)午後6時からの開催となりました。

この日の絶好調は、オブザーバーの高田さんでした。前半戦3戦3勝でそのまま逃げ切りを果たし見事優勝となりました。準優勝は順調に勝ち点を積み上げた新人の三吉君です。3位は、前半戦のマイナスを取り返した木本君が入賞となりました。私、鈴木ですがオーラスまで2位かと思われましたが、最後の最後で三吉君、小橋会長の2人からダブルロンの洗礼を受け、4位に沈められ寝苦しい夜となりました。また懲りずに頑張ります。

次回例会は3月19日(木)午後6時からとなっております。

● 卓話予告

日時	テ ー マ
3/5(木)	創立56周年夜間例会

● 会員記念日

🎉 連続出席100% (13名)

- 梶本君 (21年)
- 小田君 (17年)
- 福田君 (13年)
- 上野(寛)君 (9年)
- 大谷君 (8年)
- 川妻君 (8年)
- 渡辺君 (2年)
- 原君 (20年)
- 香川(浩)君 (17年)
- 田原君 (10年)
- 吉田(浩)君 (8年)
- 熊本君 (8年)
- 平原君 (8年)

連続出席記念品贈呈



20年 原 敬君 (サファイア入り9Kバッジ)



10年 田原 真一郎君

🎁 ご結婚記念日おめでとうございます。

(2名)

大地君 山縣君

● スマイルボックス SAA 大地君

👤 田上剛グループ7ガバナー補佐より

ご来訪くださいました田上 剛グループ7ガバナー補佐より、ご厚志をいただいております。ありがとうございます。

👤 全員出宝 ロータリー創立記念

1905年2月23日、世界で最初のロータリークラブはシカゴで、ポール・ハリスと3人の友人によって設立されました。今では国境を越え、200以上の国と地域に広がり、120万人のロータリアンが奉仕のために活動しています。

来月には、我が広島西も創立56周年を迎えますが、121年前のこの日があったからこそ、この広島の地で出会い、ともにロータリアンとして活動できることに感謝し、お祝いしましょう。会員の皆様のご健康とご多幸を祈念し、全員出宝とさせていただきます。



サンフレッチェ広島の志

(株)サンフレッチェ広島

相談役 **仙田 信吾 様**

最初に小ネタから。2月15日開催のインターシティ・ミーティングで講師の方が志賀 直哉を語りました。広島西RCと志賀 直哉の関係という点、『清兵衛と瓢箪』を書いた尾道滞在はわずかの期間でしたが、当時珍しかった都市ガスの使用料が地元の料亭に次いで二番だったと、志賀の弟子阿川 弘之が書いています。今も広島ガス様にとって尾道は重要拠点だと思います。私は前職の中国放送東京支社長時代、阿川先生のご自宅に通い詰めて、15分のラジオ番組13回シリーズを企画、インタビューしました。文芸春秋が音源の価値を認めて『我が青春の記憶』と題して出版してくれました。

さて、サッカーです。懸命に死に物狂いで走り、ぶつかり、攻め合うスポーツです。なかなか得点が入らない。だからこそゴールの瞬間の感動が大きく世界最大のスポーツになったと言われていました。しかし、以前のエディオンスタジアムでは、観客席とピッチの距離が30m以上もあって、その迫力が伝わりませんでした。開業したエディオンピースウイング広島は、選手を指呼の間にでき、国内でも一番の感動拠点になりました。観客動員が大きく伸びました。

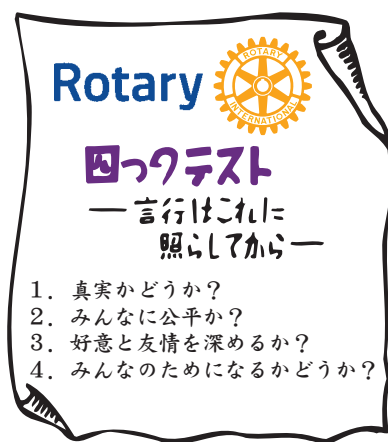
その結果、私が社長に就任する前年まで30億円台だった売上が、スタジアム開業初年には80億円を超え、浦和、川崎、神戸というビッグクラブに次ぐ規模になりました。実は外注に変更したグッズ収入を前年並みにカウントすると、浦和に次ぐ2番になります。しかし、私たちはこれまでの経営がいかに厳しかったか、そうした中で2011年、大減資で株主の皆様にご迷惑をおかけしたのを決して忘れてはならないと誓っています。

サッカーの経営は、常に昇降格という切所に立たされています。降格はプロ野球にはなく、プロバスケットもプレミアムリーグ入りによって今年

の開幕から降格がありません。サッカーは欧州型であり、競争環境が違います。ワールドカップ大会の出場枠が緩和されたことから、今後はクラブワールドカップへの関心がいつそう高まってきます。広島は今、ACLエリートを神戸、町田と共に戦っていますが、アジア有数のクラブに成長し、世界に向けて平和を発信していきたい。これがサンフレッチェ広島の志です。

広島にとってサッカーは特別な存在です。2020年、社長に就任してすぐ、コロナ禍で130日間の中断を余儀なくされました。お得意先様に直筆の手紙を書きました。チームの現況と、オンラインなど使って社会貢献活動をどのようにしているかお伝えするとともに、広島には「地の力」ともいふべきものがあり、コロナごときを乗り越えられないわけではないと、広島サッカーの奇跡を訴えました。広島高等師範学校附属中学校が被爆のわずか2年後、全国大会で優勝するのです。校舎は倒壊したまま、グラウンドは芋畑になっていたのをかろうじて整地し直した過酷な環境下でした。附属に続いて修道、国泰寺が強くなり、高校が押し上げて東洋工業サッカー部が1965年の日本リーグ初年から前人未到の4連覇、そして1968年のメキシコ五輪で銅メダルを獲得したとき代表選手18人中6人が広島で、4人が被爆者、監督も重篤な被爆を克服した長沼 健さんだったのです。クラブ初代の総監督 今西 和男さんも、日本一をけん引した東洋工業サッカー部監督 下村 幸男さんも、メキシコ銅メダリスト 小城 得達さんも、皆さん被爆者です。あの惨禍に立ち尽くしたとき、サッカーが生きる希望、サッカーが生きる勇気の源泉だったと語りました。

こうしたお声がけに企業の皆様が応えてくださり、この年、Jリーグ58クラブ合算して広告の新規売上は2億円しかなかったのですが、そのうち半分がサンフレッチェでした。コロナ禍でサンフレッチェ広島は、広島サッカーの奇跡の歴史に救われました。私たちは今、世界中のサッカーファンが憧れるアニメ『キャプテン翼』の作者 高橋陽一先生ともつながりました。スタジアム内には歴史を紹介するミュージアムも作り、世界に向けて戦う選手たちと共に、サッカーの平和を発信していこうとしています。



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 小橋 敏幸
幹事 山縣 浩一

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索 